

令和 6 年 度

社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会

事 業 報 告

令和 6 年度 社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会 事業報告

目 次

I 重点項目の取組み

1. 社協発展・強化計画に基づく 組織体制の基盤強化	1
2. 第 4 期朝霞市地域福祉活動計画 に基づく重点事業	2

II 事業報告

1. 法人運営事業	4
2. 地域福祉事業の推進	7
3. 相談援助事業の実施	1 0
4. 福祉資金貸付業務の実施	1 0
5. ボランティア事業の推進	1 1
6. 市委託事業の受託経営	1 5
7. 指定管理事業の受託経営	1 7
8. その他社協関連事業	2 6

I 重点項目の取組み

1. 社協発展・強化計画に基づく組織体制の基盤強化

(1) 組織体制の強化

◇専門家による支援

税理士による税務業務や記帳代行業務、社会保険労務士による労務相談を実施し、内部統制の強化を図りました。

◇運営体制の強化

事業評価制度に基づき、事業目的の妥当性、事業の有効性や効率性などを検討し、事業の拡張又は改廃や縮小を行いました。また、策定部会を立ち上げ、次期計画策定に向けた準備を行いました。

◇PR力の強化

広報紙の配布・配架先を検討し、放課後児童クラブ各家庭への配布や、各部署においてカウンター等の目に留まる場所に設置するなど、配布の拡充を図りました。

(2) 人材育成の取組み

◇人材育成指針に基づく職員育成の実施

人材育成指針に基づき、各部署でOJTによる人材育成に取り組みました。また、職員個人も自身に求められる役割を意識しながら業務に取り組みました。

◇キャリアデザインの体系化

社協職員としての職員個々の成長を促すため、これまでの自分を振り返り、今後の自分の将来を見据えた「今年度の私の成長目標」を全職員が作成し、面談と振り返りをとおして、目標達成に向けて努力しました。

◇職員研修制度の充実

各種キャリアパス研修や専門研修などを受講し、人材の育成に努めました。また、人材育成指針に基づき階層別の研修を実施しました。

(3) 財政基盤の強化

◇経費の有効活用

経費削減指針の見直しを行い、新たな指針の基、組織的に経費削減に取り組む体制を整えました。また、光熱水費等について使用料の推移を把握し、経費削減への取り組み意識を持つよう啓発しました。

◇財源の確保

職員の理解を促す動画視聴による研修に実施や、他市社協の財源確保に向けた取り組み等の情報収集を行うなど、新たな手法の検討を行いました。

2. 第4期朝霞市地域福祉活動計画に基づく重点事業

【基本目標1】

市民の暮らしを支える仕組みづくり

◇地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり

高齢者・障害者・子育て支援等、様々な関係機関と課題や現状について情報交換、意見交換を行い、連携を図りました。また、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置に向け、市担当課と準備を進めました。

◇相談支援体制の充実

福祉に関する様々な相談（児童、高齢者、障害者、就労、生活困窮、権利擁護等）に対応するとともに、各専門機関と連携し支援を行いました。

また、ボランティア保険の出張受付を実施した他、イベント等で相談窓口を開設することで、ボランティアに関する相談支援、情報周知を行いました。

◇保健医療・社会福祉サービスの充実

介護、障害者支援等の専門機関同士がそれぞれの活動や機能を十分に理解し、支援体制を構築していけるよう研修会を開催しました。昨年度のアンケート結果を踏まえ、より関心の高い内容を盛り込むことで様々な関係機関が参加し、連携及び資質向上を図りました。

◇権利擁護の推進

高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）の新規契約に向けた支援や、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスの援助を行いました。

成年後見制度について広く市民に周知するために、行政書士による成年後見・遺言・相続等の無料相談会を2回実施しました。

また、ふじみ野市社協を講師に招き、成年後見制度・法人後見についての職員研修を実施し、職員が制度について学ぶ機会を得ました。

その他、施設でのポスター掲示や社協主催の講座などで権利擁護に関する取組みの周知啓発を行い、令和7年1月に法人後見事業を開始しました。

◇生活困窮者等への支援の充実

相談者の生活状況を把握し、生活福祉資金貸付だけではなく、他機関による資源（生活保護、住居確保給付金、ハローワーク等）の情報提供を通して生活再建できるよう支援しました。また、食材の確保が困難な相談者に対し食料支援を行ったほか、市民や企業から食料品等の寄付、寄贈を受け付け、生活困窮者への支援を行いました。

◇地域住民の交流の促進

各施設で事業を実施し、参加者が交流を深められる機会の提供に努めました。また、ふれあい・いきいきサロン、高齢者会食会などの活動団体の運営を支援するため、助成金の交付やサロン交流会を行いました。

【基本目標2】

思いやりと支え合いの心づくり

◇地域福祉に関する理解と参加の促進

地域福祉の担い手の育成、福祉活動への参加支援として各施設で実習生やボランティアの受け入れを行いました。また、ボランティア講座の開催やボランティア体験プログラムを実施し、ボランティア活動のきっかけづくりを行いました。その他、出前講座を実施し地域で活躍している団体の活動支援を行いました。

住民参加型在宅福祉サービス「あいはあと事業」では、新規協力会員向け講座を開催し、地域の支え合い活動の促進を図りました。

◇支え合い・助け合いの気持ちの醸成

近隣4市（朝霞市、和光市、志木市、新座市）のボランティアセンターが共催で「朝霞地区四市福祉教育研修会」を開催しました。その他、小・中学校などで行う福祉教育では福祉教育サポーター（ボランティア）の協力を得て実施し、支え合い・助け合いの気持ちの醸成を図りました。

◇地域での見守りの充実

あいはあと事業新規協力会員向け講習会、協力会員フォローアップ研修会、民生委員児童委員協議会での生活福祉資金貸付制度説明会において、互助の助け合いの重要性について説明し、地域住民が主体となって見守り活動を行うことの必要性について理解を深めました。

◇情報共有・発信の充実

広報紙「社協あさか」、ホームページ、X、Facebook、YouTubeなどの情報媒体を活用し、情報発信を行いました。また、地域活動団体を訪問する際に広報紙やチラシを持参し配布するなどの情報提供を行いました。

◇地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成

地域の福祉活動団体に対し相談支援や助成金の交付を行い、活動をサポートしました。また、手話講習会やボランティア講座などを実施し、地域福祉を支える人材の育成に取り組みしました。その他、市民活動支援ステーションと連携し、地域デビュー支援セミナーでボランティアセンターのブースを設けるなど、相談支援に努めました。

【基本目標3】

安心して暮らしやすい地域づくり

◇施設等の整備・充実

地域の住民が気軽に集うことができる場について関係機関との情報交換、地域活動団体の活動場所についての情報提供等を行いました。また、本会が管理運営する全ての施設において、利用者が安心・安全に利用できるように日頃から点検や修繕を行いました。

◇防災対策の充実

朝霞市主催の防災フェアでのブース出展や出前講座を実施し、防災に関する周知・啓発を行いました。また、本会が管理運営する全ての施設において、様々な災害を想定した防災訓練を行い、防災意識の啓発に努めました。

◇防犯対策の充実

朝霞市主催の防災フェアでのブース出展や出前講座を実施し、防災に関する周知・啓発を行いました。また、本会が管理運営する全ての施設において、様々な災害を想定した防災訓練を行い、防災意識の啓発に努めました。

◇外出・移動の支援

外出や移動に困難を抱えている人に対し車いすの貸出しを行いました。また、広報紙やSNSで周知し、利用の促進を図りました。

◇住まいの確保等への支援

住まいの確保に困難を抱えている人の相談に応じ、各種制度に関する情報を提供した他、生活面で困窮している相談者には生活福祉資金貸付の案内を行いました。

II 事業報告

1. 法人運営事業

理事会、評議員会等を開催し、事業計画並びに資金収支予算を定めるとともに各種委員会の開催など、本会の基幹的業務を計画的に実施しました。

広報活動として、ホームページやX等を活用した社協事業のPRや積極的な情報発信を行い、福祉情報をわかりやすく、迅速に提供しました。

また、職員の能力開発のための研修や人材育成指針に基づく研修を実施するとともに、各種休暇の取得を促進するなど、魅力ある職場づくりに努めました。

◇理事会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
令和6年第3回	令和 6年 4月15日	9人	補正予算等 2議案（書面決議）
令和6年第4回	令和 6年 6月11日	8人 (監事2人含む)	令和5年度事業報告等 5議案
令和6年第5回	令和 6年 9月 3日	8人 (監事1人含む)	補正予算等 3議案
令和6年第6回	令和 6年12月10日	7人 (監事2人含む)	補正予算等 5議案
令和7年第1回	令和 7年 2月 5日	7人 (監事1人含む)	規程改正等 2議案
令和7年第2回	令和 7年 3月18日	8人 (監事1人含む)	令和7年事業計画等 8議案

◇評議員会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
令和6年第3回	令和 6年 4月30日	20人	補正予算 1議案（書面決議）
令和6年第4回 定時評議員会	令和 6年 6月27日	21人	令和5年度事業報告等 2議案（書面決議）
令和6年第5回	令和 6年 9月26日	14人	補正予算 2議案
令和6年第6回	令和 7年 1月22日	21人	補正予算 1議案（書面決議）
令和7年第1回	令和 7年 3月31日	21人	令和7年度事業計画他 3議案（書面決議）

○正副会長会議

理事会・評議員会提出議案等について協議を行いました。

・開催回数：5回

◇各種委員会等の開催

○総務・財政委員会

・第1回：令和6年5月23日（出席者5人）

広報紙「社協あさか」7月号（No.195）の編集発行について

令和5年度社協会員募集報告について

令和6年度社協会員募集について

・第2回：令和6年8月22日（出席者5人）

広報紙「社協あさか」10月号（No.196）の編集発行について

令和5年度寄付金収納について

・第3回：令和6年11月21日（出席者5人）

広報紙「社協あさか」1月号（No.197）の編集発行について

社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会資金運用規程の制定について

・第4回：令和7年2月25日（出席者5人）

広報紙「社協あさか」4月号（No.198）の編集発行について

令和6年度社協会員募集の進捗状況、及び令和7年度社協会員募集チラシについて

○企画委員会

・第1回：令和6年7月10日（出席者4人）

令和5年度事務事業評価について

・第2回：令和7年3月3日（出席者4人）

地域福祉団体への助成について

児童館事業について（中高生世代の取組みについて）

○評議員選任・解任委員会

・第1回：令和6年 6月11日（出席者5人）

第28期社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会評議員の選任について

◇決算監査・中間監査の実施

○決算監査：令和6年 5月30日

令和5年度業務監査及び会計監査

○中間監査：令和6年11月17日

令和6年度上半期の業務監査及び会計監査

◇社協発展・強化計画の推進

職員による推進委員会において、確実な計画推進体制を整備し、本会の使命である、『ともに生きる豊かな地域社会「あさか」の実現』に向けて、重点項目に則った事業を展開、実施するとともに、その推進状況について検証を行いました。

◇広報紙「社協あさか」の発行及びホームページ等情報ツールの管理

広報紙の定期発行による情報発信とXやホームページ等のSNSを活用した、迅速かつ積極的な情報発信に努めました。

○広報紙「社協あさか」の発行

・年4回【7月・10月・1月・4月（各1日発行）】

・配布先：市内各世帯（町内会自治会、公共施設等）

・発行部数：35,500部／回

○情報発信

	令和6年度	令和5年度
X	1,682件	1,709件
Facebook	1,544件	1,578件
You Tube	118件	150件

◇職員研修の実施

研修計画に基づき、階級や年齢に応じた研修を実施、受講しました。

また、社協発展・強化計画と連動・連携し、人材育成や法令順守、社協職員としてのスキル向上を図るため、内部、外部を問わず幅広い研修の実施及び参加により、組織力の向上に繋がりました。

◇るくるん募金箱設置の推進

るくるん募金箱設置の周知・啓発を行い、新たな設置先について検討しました。

【寄付金実績報告】

※るくるん募金箱設置か所：7か所（令和6年度末現在）

	令和6年度	令和5年度
個人	延べ 6件 89,655円	延べ 8件 204,571円
団体	延べ27件 584,526円	延べ25件 266,799円
るくるん募金	7か所 43,037円	9か所 62,722円
合計	717,218円	534,092円

2. 地域福祉事業の推進

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、住民の方々と協働し地域の生活課題に取り組み、地域の支え合いの仕組みづくりを行いました。また、地域で活動している地域福祉活動団体に対し、相談支援、福祉情報の発信、助成金の交付、出前講座の提供など、活動支援を行いました。

◇社協会員の募集

社協活動への理解と参加の促進、及び自主財源の確保のため、地域住民、自治会・町内会、市内外事業所に周知・啓発を行い、会員の募集を行いました。

(一般会員500円以上、賛助会員1,000円以上、特別会員5,000円以上)

○実施期間：令和6年7月1日～令和7年3月31日

○目標額：7,000,000円

○実績額：6,357,455円

○加入状況内訳 ※（）内は、振込による加入

	令和6年度	令和5年度
一般会員	2,460世帯 (0)	3,240世帯 (2)
賛助会員	294世帯 (15)	346世帯 (17)
特別会員	178世帯 (72)	190世帯 (74)
500円未満	769世帯	1,498世帯

【社協会員募集説明会】

○対象者：自治会・町内会長

○期 日：令和6年6月6日

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○参加者：合計22人

◇赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金活動の実施

地域福祉推進の重要な財源の確保のため、自治会・町内会、関係機関・団体と連携し、共同募金運動を実施し、県共同募金会より各募金の配分金を受領しました。

○配分金額

	令和6年度	令和5年度
一般募金配分金	3,130,000円	3,281,000円
歳末たすけあい募金配分金	3,688,815円	3,714,333円

◇地域福祉活動の啓発・活動支援

住民組織である自治会・町内会に対し、地域の発展と住民の福祉向上を図ることを目的として、前年度の赤い羽根共同募金と社協会員会費実績額の20%を助成しました。

	令和6年度	令和5年度
交付先	自治会・町内会 59団体	自治会・町内会 61団体
助成金額	1,997,790円	2,084,180円

◇第4期地域福祉活動計画の進行管理、及び第5期地域福祉活動計画の策定

地域福祉活動計画の基本理念・行動目標に基づき、進行の管理を行うとともに、各事業の充実を図りました。また、社協が策定する地域福祉活動計画は市の地域福祉計画と内容の一部を共有し、連携を図ることが求められていることから、次期計画の策定を協働で進めています。

(進行管理については2～4ページ参照)

【朝霞市地域福祉活動計画推進委員会】

地域福祉活動計画の進捗状況の確認、評価、及び次期計画の策定を行うため、朝霞市地域福祉活動計画推進委員会を開催しました。

	期 日	場 所	出席者
第1回	令和6年5月13日	朝霞市総合福祉センター	15人
第2回	令和6年8月5日	朝霞市総合福祉センター	14人
第3回	令和6年10月1日	朝霞市総合福祉センター	13人
第4回	令和7年3月14日	朝霞市総合福祉センター	10人

【朝霞市地域福祉活動計画策定検討委員会】

第5期朝霞市地域福祉活動計画の策定のため、社協職員による策定検討委員会を開催しました。

○期 日：令和6年8月29日～令和7年11月20日 全10回

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○出席者：延べ57人

【地域懇談会】

朝霞市と協働で第5期朝霞市地域福祉計画及び第5期朝霞市地域福祉活動計画を策定するための、地域懇談会「朝霞の『ふくし』を考えてみませんか2024」を開催しました。

	期 日	場 所	参加者
第1回	令和6年11月26日	根岸台市民センター	17人
第2回	令和6年11月27日	膝折市民センター	15人
第3回	令和6年11月28日	宮戸市民センター	18人
第4回	令和6年12月5日	産業文化センター	20人
第5回	令和6年12月6日	コミュニティセンター	22人
第6回	令和6年12月7日	朝霞市総合福祉センター	14人
			合計106人

○内 容：懇談会の趣旨や朝霞市の現状を具体的な統計情報を用いての説明、テーマ別にグループワークを実施

◇地域福祉活動団体との連携・活動支援

各団体が抱えている課題などの相談を受け、必要に応じて各関係機関と協働し支援を行いました。また、サロン交流会を実施した他、本会以外の助成金情報について情報提供を行いました。あわせて、職員が各団体へ定期的に訪問し、状況確認や顔の見える関係づく

りを継続しました。

その他、各団体が主催するイベントや活動情報などをホームページやXで周知し、活動支援を行いました。

【サロン交流会（サロン活動サポート会）】

	期 日	場 所	出席者
第1回	令和7年3月11日	朝霞市総合福祉センター	23人
第2回	令和7年3月19日	コミュニティセンター	積雪のため 中止

◇地域福祉活動団体等への助成

市内で活動する高齢者、障害者、子育てサロングループや福祉団体等に対して、運営にかかる費用の助成を行いました。

○地域福祉活動（運営費）助成金

	令和6年度	令和5年度
団体数	39団体	40団体
助成金額	1,262,500円	1,256,500円

○地域福祉活動（事業費）助成金

	令和6年度	令和5年度
団体数	11団体	9団体
助成金額	315,000円	245,000円

○地域福祉活動（開設費）助成金

	令和6年度	令和5年度
団体数	0団体	1団体
助成金額	0円	4,830円

○歳末援護金

	令和6年度	令和5年度
団体数	19団体	21団体
助成金額	190,000円	210,000円

◇社協出前講座のメニューの充実及び周知・啓発（広報紙等）

住民の学習機会の拡充と福祉への理解を深めるため、民生委員児童委員協議会や福祉団体等からの依頼により、「福祉体験」や「防災工作」等、身近な福祉の情報を交えた講座を職員が講師となり実施しました。

	令和6年度	令和5年度
実施回数	17回	13回

◇生活困窮世帯への支援

【ひとり親家庭等に対する食材支援】

○期 間：令和6年10月1日～令和6年12月17日 ○食材支援：69世帯

3. 相談援助事業の実施

(1) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）の推進（県社協委託事業）

高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預りサービスの援助を行いました。

	令和6年度	令和5年度
生活支援員	14人	13人
活動日数	延べ172日	延べ188日
相談件数	延べ1,088件	延べ1,279件
利用契約者	10人（認知症高齢者6人、知的障害者2人、精神障害者2人）	12人（認知症高齢者7人、知的障害者2人、精神障害者3人）

◇事業の周知啓発

社協内情報コーナーにパンフレットの設置、並びにホームページやX、広報紙「社協あさか」にサービス案内を掲載し、事業の周知を図りました。

(2) 総合相談支援体制

相談、問い合わせに対し傾聴し、適切な関係機関につなげるとともに、社協内の各部署と連携、情報共有を図り、迅速かつ相談内容に的確に対応できる体制づくりに努めました。
○相談件数：39件（高齢者・障害者関係、就労、生活困窮、権利擁護等）

(3) 福祉機器の貸出し

○車いす：69件（外出・通院等）

車いすを外出・通院等の支援として貸出ししました。

	令和6年度	令和5年度
貸出回数	69件	51件

4. 福祉資金貸付事業の実施

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）

支援を必要とする低所得者世帯及び療養や介護を要する高齢者・障害者世帯等に必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、文書と訪問による償還指導を行いました。

	令和6年度	令和5年度
貸付相談	延べ158件	延べ249件
貸付件数	4件	6件
償還指導	42件	41件

(2) 社協福祉資金貸付事業

臨時的な出費や応急的な資金を必要とする低所得者世帯に対し、必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、文書と訪問による償還指導を行いました。

	令和6年度	令和5年度
貸付相談	延べ3件	延べ31件
貸付件数	2件	2件
償還指導	21件	22件

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金特例貸付（県社協委託事業）

生活福祉資金について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、緊急小口資金等の特例貸付を利用した世帯に対し、償還についての相談援助、償還猶予にかかる面談、生活状況確認の電話や生活保護受給相談同行等のフォローアップ支援を実施しました。

○償還相談：延べ34件

○償還猶予面談：延べ23件

○フォローアップ支援：61件

(4) 彩の国あんしんセーフティネット事業の支援

福祉資金貸付事業（生活福祉資金貸付事業及び社協福祉資金貸付事業）等にて相談のあった生活困窮世帯のうち緊急の支援が必要な世帯に対して、彩の国あんしんセーフティネット事業の支援員に代行して食材支援を実施しました。

	令和6年度	令和5年度
福祉資金貸付事業相談	延べ195件	延べ317件
上記のうち、セーフティネット事業による支援（食材支援）	20人	22人

5. ボランティア事業の推進

◇ボランティア相談及びコーディネート

○ボランティアの活動状況（ボランティア保険加入状況より）

	令和6年度	令和5年度
個人	156人	94人
団体	473人（32団体）	469人（37団体）

○相談件数

	令和6年度	令和5年度
相談件数	延べ175件	延べ185件

○団体利用室利用状況

	令和6年度	令和5年度
登録団体	12団体	14団体
利用件数	延べ77件	延べ61件

◇ボランティア保険受付出張窓口の実施

来所が困難であるというボランティアの声をうけ、利便性の良い朝霞市市民活動ステーションと連携し、場所を借りてボランティア保険受付窓口を実施しました。

○対象者：朝霞市民等

○期 日：令和7年3月18日、26日（2日間）

○場 所：朝霞市市民活動支援ステーション

○来所者数：合計8人

◇ボランティア情報の収集、発信（ボランティアニュースの発行等）

○ボランティアニュース

ボランティア情報を必要としている人へ情報が届くよう、市内公共施設等への配置及びボランティア登録をした人にボランティアニュースを送付しました。6月号は、中学校と高校の全校生徒へ配布し、ボランティア体験プログラムの周知を図りました。

・発行回数：年3回（6月/9, 000部、2月、3月/各2, 000部）

○ボランティアセンターガイドブック

ボランティアセンターガイドブックを活用し、ボランティア相談来所者等に配布、情報の発信を行いました。

◇朝霞地区四市福祉教育研修会の開催（朝霞市・和光市・新座市・志木市社協共催）

○対象者：朝霞地区四市で福祉教育に携わる教職員及びボランティア等（会場：朝霞市）

○期 日：令和6年7月26日

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○内 容：社協の取組について

朝霞市における福祉教育の取り組みについて

講演・体験「ろうの世界のこと」

講演・ワークショップ「バリアフリー研修～障害平等研修～」

	令和6年度	令和5年度
四市合計	66人	45人
朝霞市内	24人	8人

◇福祉教育の支援、充実

市内小学校における福祉教育のコーディネート・支援、福祉体験教室等を行いました。また、4月に福祉教育のメニューと依頼方法についてまとめた案内を市内小中学校及び高校へ送付し、福祉教育の啓発に努めました。その他、障害のある方や福祉教育サポーターの協力を得て実施しました。

○依頼件数

	令和6年度	令和5年度
延べ件数	107件	75件
小学校	9校	9校
中学校	2校	0校

○内 容：事前学習「福祉について」、体験学習（車いす・アイマスク・手話）
講演「視覚障害者への理解」等

○福祉教育用機器貸出件数：31件（車いす・アイマスク・点字盤・高齢者疑似体験セット・
クロスロードゲーム(防災教育)・ボッチャ等)

◇地域福祉活動の担い手の育成

地域住民同士の支え合い活動を推進するため“住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業新規協力会員向け講習会を開催しました。

また、令和6年度登録済みの協力会員を対象に「協力会員ミーティング（フォローアップ研修会）」を実施しました。活動紹介や交流会を通して協力会員同士の連帯感や地域活動を行う“やりがい”を感じてもらうこと、地域の支え合い活動の必要性や役割を学ぶ機会を設けました。

（15ページ参照）

◇ボランティア講座の開催

社会参加や地域活動への参加意欲の向上を図れるよう学びの機会として、また、ボランティア活動のきっかけづくりとなるよう、ボランティア講座を実施しました。

○期 日：令和7年2月27日

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○内 容：ボランティア活動について

住民参加型在宅福祉サービスあいはあと事業の説明

ボランティア活動者の講話

障害への理解（視覚障害のある方のお話）

アイマスク・ガイドヘルプ体験

○参加者：12人

◇ボランティア体験プログラムの実施

○対象者：市民及び近隣のボランティア活動体験希望者

○期 間：令和6年7月～8月

○場 所：市内各福祉施設等

○参加者：86人（延べ110人）

【説明会】

○期 日：令和6年7月13日 3回実施

○参加者：58人 ※説明会に都合がつかず、個別に説明：29人

◇災害ボランティアセンターの体制整備

- 平時からの準備として、共募配分金を活用し、災害ボランティアセンター資機材の充実を図りました。
- 令和6年1月能登半島地震に伴う災害ボランティアセンター運営支援のため職員派遣を行いました。
 - ・派遣先：輪島市社会福祉協議会(石川県)
 - ・期 間：①令和6年5月2日～5月8日 ②令和6年9月23日～9月29日
 - ・派遣人数：①②各1人
- 令和6年7月31日の大雨災害において被災された方へ、ボランティアの協力を得て清掃、家財搬出等の対応を行いました。(朝霞市内)
 - ・対応件数：7件 ボランティア活動者数：延べ11人
 - ・内容：清掃、家財搬出等

◇“住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業の実施

日常生活のちょっとした困りごとを解決するため“住民参加型”在宅福祉サービスあいはあと事業を地域住民に協力いただき実施しました。

地域住民に事業の情報を分かりやすく伝えるため、ホームページやパンフレットを活用して周知活動を行いました。また、広報紙「社協あさか」に利用会員向けの記事を掲載し、情報提供に努めました。

地域の担い手として活躍する人材を確保するため新規協力会員向け講習会を開催し、利用会員のニーズに応えられる体制を整えました。また、協力会員を対象に「協力会員交流会」を実施し、協力会員の活動紹介や地域活動を行う“やりがい”について意見交換し、地域の支え合い活動の必要性や役割について理解を深めました。

関係機関の専門職・支援者等に本事業を理解してもらうため、新規協力会員向け講習会や協力会員交流会の参加依頼を行いました。また、必要に応じて関係機関と情報共有を行い、利用会員宅へ訪問時は同行してもらうなど、関係機関と顔の見える関係づくりを行いました。

【活動実績】

	令和6年度	令和5年度
相談件数	151件	161件
利用会員数	118人 (定期47人 単発71人)	121人 (定期46人 単発75人)
利用会員内訳	高齢者101人 障害者12人 子育て 5人	高齢者97人 障害者16人 子育て 8人
協力会員数	77人	75人
利用・活動日数	延べ704日	延べ660日
利用・活動時間	延べ944時間30分	延べ848時間30分

【新規協力会員向け講習会】

- 開催 日：令和6年8月8日・10月23日・12月6日
令和7年2月6日
- 開催方法：会場 朝霞市総合福祉センター（1回）、コミュニティセンター（1回）
オンライン説明（2回）、個別説明（8回）
- 参加人数：28人（内：会場7人、オンライン12人、個別説明9人）
- 参加者内訳：一般市民27人、地域包括支援センター1人

【協力会員交流会（フォローアップ研修会）】

- 開催日：令和7年3月3日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター
- 対象者：あいはいと事業協力会員（令和6年度登録者）、関係機関
- 参加者：20人
- 内 容：あいはいと事業活動紹介（事例紹介）、交流会、質疑応答

6. 市委託事業の受託経営

（1）手話通訳者等派遣事業

手話を必要とする聴覚障害者等の生活におけるコミュニケーションの円滑化、社会参加の促進を図るため手話通訳者の派遣を行いました。

	令和6年度	令和5年度
依頼件数	539件	489件
派遣件数	502件 (個人356件・自治体47件・学校19件・団体80件)	464件 (個人339件・自治体47件・学校26件・団体52件)
派遣人数	延べ590人 (専任延べ260人・登録延べ312人・他機関派遣協力18人)	延べ548人 (専任延べ205人・登録延べ305人・他機関派遣協力38人)

◇手話通訳者の育成

手話講習会	期 日	受講者	講 師	アシスタント
入門(夜)	令和6年4月 ～令和6年9月	12人	戸田康之氏 (朝霞市聴覚障害者協会)	あさか手話サークル あじさい
基礎(夜)	令和6年10月 ～令和7年2月	11人	戸田康之氏 (朝霞市聴覚障害者協会)	あさか手話サークル あじさい
養成 (後半・昼)	令和5年10月 ～令和6年9月	3人	野口照代氏 (NPO法人手話教師センター)	専任手話通訳者

◇手話体験会

- 期 日：令和6年7月23日・30日・8月6日・20日
- 参 加 者：21人

◇朝霞市日本手話言語条例講演会

- 期 日：令和7年2月2日

- 講 師：川俣郁美氏・矢ヶ部紋可氏
○参 加 者：79人

◇要約筆記（PC）体験会

- 期 日：令和7年3月8日
○講 師：手話通訳問題研究会（要約筆記者班）
○受 講 者：4人

（2）一般介護予防事業

市内の概ね65歳以上の方を対象に、高齢者が健康的に生きがいを持ち地域の様々な活動に主体的に参加できるよう、住民運営の通いの場の創出や、人と人との交流の場の拡充を目指し事業に取り組みました。

新規事業として、溝沼老人福祉センターと共催により、声楽家による歌唱指導とミニ講座・音楽体操で口腔機能・認知機能の向上を図る『おんがく広間』がスタートしました。

また、市内医療機関のリハビリ専門職との連携強化による専門職講座「老いません体操」では、体操のアドバイスの他、市民と専門職の関わりを通じて、介護予防への意識付け、継続支援を行いました。

令和6年度	期間	回数	延べ人数
ノルディック・ウォーク教室 (連続講座)	5月～ 7月	7回	128人
ノルディック・ウォーク フォローアップ事業	11月～ 2月	9回	106人
健康太極拳教室 (連続講座)	4月～ 7月 9月～ 2月	11回 24回	826人
おんがく広間	4月～ 7月 9月～ 3月	11回	105人
専門職講座 老いません体操	5月～ 7月 9月～ 11月 1月～ 3月	9回	120人
専門職講座 普段の生活の中で実践できる 『“ながら”体操』 (フレイル予防体操講座)	3月	2回	27人
切り絵講座 体験「うちわを作ろう」	7月	1回	22人
切り絵講座 連続講座	9月～ 11月	6回	90人
脳活講座 写仏体験会	6月 11月	2回	25人

各自主グループ継続支援 (ノルディック・太極拳・切り絵・健康体操)	随時実施	234回	3,178人
他各種体験講座 (気功、写仏等)	随時実施	7回	223人
シニアクラブ支援	随時実施	27回	421人

7. 指定管理事業の受託経営

(1) 朝霞市総合福祉センター指定管理事業

【朝霞市総合福祉センター管理】

地域福祉の向上を図るため、各種の福祉サービスや情報、活動の場を提供する複合施設の建物・設備・備品の総合管理を行いました。

	令和6年度	令和5年度
開館日数	292日	294日
共用施設利用状況	564件	569件
利用人数	延べ5,655人	延べ5,364人

※共用施設：集会室、社会適応訓練室、調理実習室、介護者教育室

○消防訓練の実施

有事に際し、被害を最小限にとどめるため、訓練を実施し技術の向上を図りました。

- ・総合訓練 令和6年10月 3日 参加者：110人（地震→火災想定避難訓練）
令和7年 3月25日 参加者：110人（火災想定避難訓練）
- ・部分訓練 令和6年 5月23日 参加者： 13人（消火訓練）
令和6年 6月 6日 参加者： 8人（通報訓練）
令和6年10月 3日 参加者： 14人（消火訓練）

○洪水時等の避難確保計画による訓練の実施

大雨や洪水時等の有事に際し、情報の伝達、避難誘導について机上訓練を行いました
令和6年 6月14日 参加者： 12人（職員による机上訓練）

○はあとぴあふれあい祭り

障害の有無や世代に関わらず交流を図ることを目的に実施しました。

- ・期 日：令和6年11月23日
- ・来 場 者：延べ1,346人

【はあとぴあ福祉作業所】

障害者総合支援法に基づく多機能型施設として、生活介護における入浴、日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、スヌーズレンによる感覚統合支援、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練等のサービスを提供しました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策を継続しつつ、事業の実施に努めました。

① 開 所 日：月曜日～金曜日

	令和6年度	令和5年度
	開所日数	開所日数
生活介護	243日	243日
就労継続支援B型	243日	243日

②利用者数（年度末）

	令和6年度		令和5年度	
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数
生活介護(定員36人)	31人	5,580人	32人	6,299人
就労継続支援B型(定員44人)	30人	6,912人	29人	6,741人
合 計	61人	12,492人	61人	13,040人

③通所状況

送迎サービスの他、自転車、徒歩による自主通所

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業

令和6年度		令和5年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
11社 本会3部署	2,228,078円	15社 本会3部署	2,449,960円	食品容器シール貼り、熱処理部品スプリング通し、封入封緘、チップ拭き、靴下ストックキング返し作業、景品封入れ、バスマットクリーニング及び交換作業等

○社会参加活動

実施事業
朝霞市ふれあいスポーツ大会、赤い羽根共同募金街頭募金、彩夏祭「鳴子踊り」

⑤花壇植栽管理整備事業（市委託事業）

ふれあい花壇、朝霞駅南口広場花壇、朝霞市役所正面花壇の植栽、灌水、除草、清掃等の管理整備

令和6年度		令和5年度	
業務内容	売上	業務内容	売上
ふれあい	4,092,000円	ふれあい	4,092,000円
朝霞駅南口広場	885,500円	朝霞駅南口広場	885,500円
朝霞市役所庁舎内	66,000円	朝霞市役所庁舎内	59,721円

⑥喫茶室「お花畑」の運営（毎週火曜日～金曜日） ※一部営業時間を短縮して営業

令和6年度			令和5年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
159日	1,621人	480,682円	220日	2,061人	749,840円

⑦売店「はっぴい」の運営（毎週火曜日～金曜日） ※一部営業時間を短縮して営業

令和6年度			令和5年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
183日	2,661人	3,484,925円	189日	3,119人	3,847,570円

○出張販売

実施事業（一部変更した事業を含む）
市役所、ふれあいマルシェ

⑧売店カフェ「ル・クール」の運営（毎週月曜日～金曜日）

令和6年度			令和5年度		
営業日数	利用者数	売上(委託金含)	営業日数	利用者数	売上(委託金含)
232日	2,847人	736,980円	214日	3,137人	758,146円

※あさか福祉作業所と合同で運営しているため、委託金は折半、売上金は執行額に応じて、あさか福祉作業所と按分

⑨主な年間行事

実施事業
保護者懇談会、個別面談、避難訓練（地震、火災、水害を想定し、避難所への避難を想定した訓練も実施）、はあとびあふれあい祭り、日帰り課外体験研修、保護者交流会、誕生日会、健康増進体操事業、理学療法、作業療法、音楽療法、社会生活力事業

⑩保健衛生

実施事業
利用者健康診断、精神科健診、歯科検診、内科検診、生活習慣病予防事業等

⑪ボランティアの受入

令和6年度		令和5年度	
受入人数	6人	受入人数	0人
活動内容	彩夏祭「鳴子踊り」	活動内容	なし

【はあとびあ障害者就労支援センター】

市内在住の障害のある方やその家族、また関係する事業所、施設、教育、医療機関等を対象に、障害のある方の就労支援と生活支援を総合的に行うことにより、一般就労の拡大を図るとともに、自立と社会参加の促進を目的に支援を行いました。

情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとびあ障害者相談支援センターと合同で会議を開催し、情報提供と日ごろからの連携の必要性の共有を図りました。また新しい企画として、特別支援学校と企業の方を講師として招き、就労を目指すために必要なことについて、関係機関や保護者に向けた勉強会を行いました。

○登録者数・就職者数

		身体	知的	精神	その他	合計
令和6年度	登録者	59人	129人	244人	13人	445人
	就職者	4人	11人	17人	0人	32人
令和5年度	登録者	56人	127人	235人	13人	431人
	就職者	4人	8人	15人	1人	28人

○就職先の主な職種

職種	身体障害	知的障害	精神障害	その他
事務職	1人	2人	8人	
小売店品出し	1人	1人		
ピッキング・仕分け・軽作業		4人	2人	
農業・水耕栽培		1人	1人	
調理		1人		
清掃	1人	2人	3人	
就労継続A型	1人		3人	
計	4人	11人	17人	0人

○事業所・関係機関との連携

新規事業所開拓	25件 (令和5年度16件)	雇用相談	延べ 845件 (令和5年度延べ988件)
調査研究・普及啓発	延べ 130件 (令和5年度延べ103件)	関係機関との連携	延べ 687件 (令和5年度延べ1,168件)

○余暇支援事業

- ・朝霞市ふれあいスポーツ大会参加
期日：令和6年9月28日
場所：朝霞市立総合体育館

- 参加者：7人
- ・社会生活力向上支援
 - 障害のある人が1人暮らしをするために（調理実習）
 - 期 日：令和7年3月18日
 - 場 所：朝霞市総合福祉センター
 - 参加者：8人
- ・はあとぴあふれあいまつり周知
 - 周知方法：郵送・X投稿

【はあとぴあ障害者相談支援センター】

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう身体状況、環境等に応じて、利用者及びその保護者からの相談に対し、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携により、生活全般の支援等を行いました。

令和6年度も、情報の共有や統一した支援の提供を目的に、ふれあい障害者相談支援センターとの調整会議や、障害者就労支援センターと合同で様々な会議を開催し、情報共有と日ごろからの連携の必要性を再確認することができました。また、施設見学会では、親亡き後の選択肢として他市にある入所施設を見学しました。

○障害年金について

対象者：近隣障害福祉サービス事業所等
 期 日：令和6年6月19日
 場 所：朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）第1・2会議室
 参加者：54名
 講 師：社会保険労務士

○依存症について

対象者：近隣障害福祉サービス事業所等
 期 日：令和6年10月11日
 場 所：朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）第1・2会議室
 参加者：26名
 講 師：埼玉県立精神保健福祉センター

○障害者の就労について

対象者：保護者・近隣福祉サービス事業所等
 期 日：令和6年12月11日
 場 所：朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）第1・2会議室
 参加者：49名
 講 師：埼玉県立さいたま桜高等学校
 株式会社ヤオコー 人事総務部

○権利擁護について（親亡き後、成年後見）市民向け講座

対象者：朝霞市民・市民介護保険事業所・障害福祉サービス事業所等
 期 日：令和7年1月17日
 場 所：朝霞市産業文化センター
 参加者：58名
 講 師：行政書士

○施設見学会

対象者：障害サービスを利用している利用者の保護者

期 日：令和6年12月23日

場 所：入所施設（大樹の華）

参加者：17名

○障害のある人が一人暮らしをするために（社会生活向上力支援）

対象者：計画相談契約者および委託相談登録者

期 日：令和7年3月18日

場 所：朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）調理実習室

参加者：8名

講 師：管理栄養士（社協職員）

<基本相談>

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
令和6年度 利用者数	67人	363人	687人	191人	1,308人
相談件数	48件	362件	608件	191件	1,209件
令和5年度 利用者数	46人	198人	1,144人	336人	1,724人
相談件数	45件	197件	1,129件	334件	1,705件

<計画相談>

	障害者契約者数	障害児契約者数	合計
令和6年度契約者数	124人	79人	203人
令和5年度契約者数	122人	84人	206人
支援内容	◇福祉についての情報提供・総合的相談 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明・紹介・仲介 ◇福祉事務所、児童相談所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携 ◇療育相談（発達に心配のある子どもに関すること） ◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇権利擁護に関する支援等		

（2）朝霞市老人福祉センター指定管理事業

60歳以上の高齢者が健康で明るい生活を営むための一助として、各種教室を開催しました。

※溝沼老人福祉センター：8月1日～5日まで浸水被害のため休館

8月6日～19日 一部開館

20日から通常開館

○利用状況

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
開 館 日 数	292日	294日	289日	293日
年 間 利 用 者 数	32,911人	31,891人	35,978人	43,068人
1日平均利用者数	113人	108人	124人	147人
個 人 利 用 者 数	26,768人	26,510人	32,289人	38,639人
団 体 利 用 者 数	1,840人	1,511人	1,567人	1,706人

○高齢者健康相談

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
実 施 日 数	年5回	年3回	年6回	年5回
相 談 件 数	28件	23件	55件	70件

(3) 朝霞市児童館指定管理事業

遊びを通じて子どもたちが心身ともに健やかに育つように支援し、子育て家族への交流・相談の場の提供を行い、児童館が健全育成の推進・ネットワーク作りの地域拠点となり、各世代が主体的に利用できる「地域に根ざした児童館」を目指し事業を展開しました。

また、こどもの居場所づくりに関する国の方針を踏まえ、利用者ニーズの把握に努めながら、従来の事業運営で培った経験を活かして、新たな事業創出に取り組みました。

○利用状況

児 童 館 名	開 館 日 数		年 間 利 用 者 数		1日平均利用者数	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
きたはら	288日	293日	37,185人	33,033人	129人	113人
はまさき	292日	294日	29,354人	20,333人	101人	69人
みぞぬま	293日	293日	54,929人	53,793人	187人	184人
ねぎしだい	292日	294日	29,930人	27,313人	103人	93人
ひざおり	288日	293日	35,114人	36,930人	122人	126人
ほんちょう	289日	292日	59,098人	56,501人	204人	193人
合 計	1,742日	1,759日	245,640人	227,903人	—	—

○主な年間事業

幼児・児童事業、工作事業、館外事業、交流事業、合同事業、夏まつり、クリスマス会、春まつり、季節事業、大会、ボランティア事業

(4) 朝霞市放課後児童クラブ指定管理事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している1年生から6年生の児童に対し、授業の終了した放課後及び夏・冬・春休み・土曜日等の学校休業日に放課後児童クラブにおいて家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行うことにより、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。

○放課後児童クラブの状況

ク ラ ブ 名	定 員		在籍数 (年度当初)		延べ児童数	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
本 町	115人	115人	112人	110人	1,334人	1,311人
朝 志 ヱ 丘	150人	150人	142人	160人	1,565人	1,699人
岡	122人	122人	120人	144人	1,362人	1,658人
膝 折	130人	130人	109人	101人	1,239人	1,132人
栄 町	135人	135人	133人	128人	1,498人	1,473人
浜 崎	148人	148人	147人	144人	1,619人	1,645人
泉 水	125人	125人	118人	117人	1,428人	1,350人
幸 町	98人	98人	102人	100人	1,154人	1,094人
根 岸 台	80人	80人	80人	79人	918人	935人
溝 沼	140人	140人	137人	138人	1,549人	1,565人
合 計	1,243人	1,243人	1,200人	1,221人	13,666人	13,862人

○主任会議・指導員会議の開催 1回／月

○主な年間事業

お誕生会、調理実習、季節の行事、伝承遊び、あそびンピック(10クラブ統一事業)等

(5) 朝霞市障害者ふれあいセンター指定管理事業

【朝霞市障害者ふれあいセンター あさか福祉作業所】

障害者総合支援法に基づく多機能型施設として、生活介護における日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、スヌーズレンによる感覚統合支援、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練、就労移行支援における一般就労に向けた訓練や企業見学・実習等のサービスを提供しました。

①開 所 日：月曜日～金曜日

②利用者数(年度末)

サービス	令和6年度		令和5年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	15人	15人	15人	15人
就労移行支援	8人	0人	8人	0人
就労継続支援B型	37人	26人	37人	26人
合計	60人	41人	60人	41人

③通所状況

送迎サービスの他、路線バス、自転車、徒歩等による自主通所
(就労移行支援は自主通所のみ)

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業等

令和6年度		令和5年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
7社 本会1部署	2,244,950円	7社 本会1部署	2,096,821円	プラスチック部品組立、機械用オイル詰め・箱入れ作業、線香箱詰め、資材梱包等

○パンの製造販売

【こんがりパンの店「フレア」】

令和6年度		令和5年度		主な販売場所
販売回数	売上	販売回数	売上	
136回	6,463,134円	137回	5,623,730円	店頭販売、市ブース販売、注文販売等

○カフェ・売店「ル・クール」の運営（毎週月曜日～金曜日）

令和6年度			令和5年度		
営業日数	来客者数	売上	営業日数	来客者数	売上
235日	2,798人	735,370円	214日	3,137人	823,424円

※はあとびあ福祉作業所と合同で運営しているため、委託金は折半、売上金は執行額に応じて、はあとびあ福祉作業所と按分

○社会参加活動等

自主製作品展示販売会（市役所）、市内企業での社員向けパン販売会、彩夏祭関八州よさこいフェスタ（鳴子踊り）、朝霞市ふれあいスポーツ大会、赤い羽根共同募金街頭募金活動

⑤就労支援（就労移行支援）

広報紙「社協あさか」等を通し、サービスの提供についての周知・啓発に引き続き努めてまいります。

⑥主な年間行事

個別面談、外出事業、音楽療法、作業療法指導、消防訓練等

⑦保健衛生

利用者健康診断、精神科健診、歯科検診等

⑧ボランティア・実習生等の受入れ

○受入人数：延べ13人（彩の国ボランティア体験プログラム、社会福祉士援助技術実習、介護等体験）

○内 容：利用者との交流、作業やレクリエーションへの参加

⑨ふれあいセンターの管理運営

ふれあいセンターの設備・備品の管理、建物の総合管理を行うとともに、施設内の清掃や消毒及び手指消毒の徹底等、新型コロナウイルスを含む感染症拡大防止対策に努めました。また、施設と地域との顔の見える関係を構築し、障害福祉への理解や促進を図ることを目的として、障害者ふれあいセンターまつり『ふれあいマルシェ』を開催しました。

○障害者ふれあいセンターまつり『ふれあいマルシェ』の開催

・開催日 令和6年10月26日

参加者：約500人

○消防訓練（避難・消火・通報）の実施

・第1回 令和6年9月2日

参加者：51人（利用者33人・職員18人）

・第2回 令和7年3月3日

参加者：49人（利用者30人・職員19人）

【ふれあい障害者相談支援センター】

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むため、利用者及びその家族からの相談に対応しました。相談の際は、利用者の身体状況や環境等に応じて、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携を図り、生活全般の支援等を行いました。

また、令和6年度も、情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとぴあ及びふれあい障害者相談支援センターとの調整会議や、はあとぴあ障害者就労支援センターを含めた合同会議を開催しました。

契約者数（年度末）	身体	知的	精神	高次脳機能	障害児	計
令和6年度	14人	66人	12人	1人	26人	119人
令和5年度	13人	63人	10人	1人	32人	119人
支援内容	◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇福祉についての情報提供、総合的相談 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明、紹介、仲介 ◇福祉事務所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携 ◇権利擁護に関する支援等					

8. その他社協関連事業

(1) 埼玉県共同募金会朝霞市支会の事務局

◇支会理事会の開催

- 令和6年6月11日 朝霞市総合福祉センター会議室 出席数10人(監事2人含む)
 - ・令和5年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業報告について
 - ・令和5年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支計算書について
- 令和7年3月18日 朝霞市総合福祉センター会議室 出席数9人(監事1人含む)
 - ・令和7年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業計画について
 - ・令和7年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支予算について
 - ・社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会会則の一部改正について

◇赤い羽根共同募金運動説明会

- 対象者：自治会・町内会
- 期 日：令和6年9月10日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター

◇赤い羽根共同募金

- 期 間：令和6年10月1日～令和7年3月31日
 - 目 標 額：6,800,000円(令和5年度目標額：7,000,000円)
 - 実 績 額：5,994,702円(令和5年度実績額：6,260,532円)
- ※ご協力いただいた募金は、全額、埼玉県共同募金会へ送金しました。

◇地域歳末たすけあい募金

- 期 間：令和6年11月20日～令和7年3月31日
 - 目 標 額：4,100,000円(令和5年度目標額：4,100,000円)
 - 実 績 額：4,009,298円(令和5年度実績額：4,078,464円)
- ※ご協力いただいた募金は、全額、埼玉県共同募金会へ送金しました。

(2) 日本赤十字社埼玉県支部朝霞市地区の事務局

◇日赤会員募集説明会開催

- 対象者：自治会・町内会長
- 期 日：令和6年4月11日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター会議室
- 参加者：24人

◇会員会費・寄付金募集

- 期 間：令和6年5月1日～令和7年3月31日
 - 目 標 額：7,567,300円(令和5年度目標額：7,567,300円)
 - 実 績 額：4,627,543円(令和5年度実績額：5,089,437円)
- (自治会・町内会：4,622,473円 個人・企業：5,070円)
- ※ご協力いただいた会費は、全額、日本赤十字社埼玉県支部へ送金しました。

◇災害見舞金支給

- 件 数：9件
- 支 給 額：125,000円